

【お知らせ】シドニーを含むニューサウスウェールズ州の各地では2019年6月1日より給水制限が実施されています。今夏の更なる気温の上昇および少ない降水量が予想されており、2019年12月10日(火)から給水制限が一段と厳しくなることが発表されているため、滞在先での水の使用に制限が設けられる可能性があります。

TELC Agent Workshop

11月19日(火)にTAFE NSW Meadowbankキャンパスで、TELC Agent Workshopが行われました。松平昂翔がTELCに在籍している学生の中から代表に選出され、迫力ある英語でのスピーチをしてゲストにTELCの魅力伝えました。また、TELCの紹介ビデオ制作係には、澤田汰成が抜擢され、同イベントのために前もって制作したビデオを流して、会場を盛り上げました。



↑ 会場の様子



↑ TAFE NSW関係者と会話をする学生たち



↑ スピーチをする松平昂翔



↑ ビデオの前に自己紹介をする澤田汰成



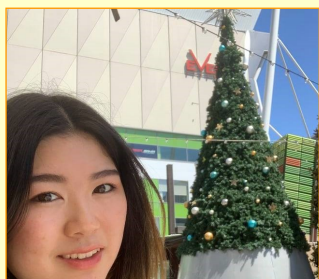
↑ キャンパス前で待機してゲストを会場まで案内しました。

Christmas

11月下旬から、シドニーのあちらこちらでクリスマスの装飾が施され始めました。学生たちは、真夏のクリスマス気分を楽しんでいるようです。



← ショッピングセンター内に飾られたクリスマスツリー



↑ Benesse GCAオフィス内でツリーの飾りつけをしました。

進路便り

The University of Queenslandの学士コースへ進学するため、10月下旬からInternational Education Services Limited (IES)のファンデーションコースへ進学した学生の様子をご紹介します。



山崎 美波

Foundation October Express Program
International Education Services Limited

<コースについて>

週5日授業があり、数学やビジネスマネジメント、経済学、行動科学など様々なことを幅広く勉強しています。授業は全て座学で、実技はありません。クラスメートは同年代の留学生がほとんどです。

<何が楽しくて、何が大変か?>

ファンデーションコース開始後は、今まで以上に英語漬けの環境で、充実した毎日を過ごせていることが楽しいと感じています。TAFEよりも授業の進度が早いことに加え、課題の量も多く、各教科の授業でほぼ毎週のように750~1000単語のレポートの提出があります。ファンデーションコースの成績次第で進学できる学士コースが左右されるので、一定以上の成績を収められるよう頑張ります。

<将来について>

大学のホスピタリティおよびツーリズム分野の学士コースへ進学予定ですが、将来就きたい職業はまだ模索中です。

第4回個人面談

11月25日(月)からBenesse GCAサポート期間中最後となる第4回個人面談を行い、主に今後の進路について個別に話をしています。



↑他州在住の学生とはビデオ通話で面談を行いました。

GIL

セッション10では、TELC主催のGILが毎週2回開講されています。TELC卒業後の進路に備えて、可能な限り英語力を伸ばすため、放課後にGILに参加する学生たちが増えました。



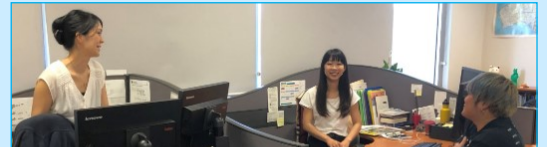
↑先生にエッセイを添削してもらいました。

↑Anna先生と会話する学生たち

Jinのシドニー留学記

ベネッセ留学センター奨学生 菅野仁美

今号で最終回となってしまったこの留学記では、私たちの強い味方であるSSOの昌代さんと奈々さんについて書きたいと思います。SSOは私たち学生のサポートをしてくれることはご存知だと思いますが、その他にも心の支えになることはたくさんあります。昌代さんは、自身の海外留学経験や日本の大学での経験の話をしてくださったり、SSOとして長く学生のサポートに当たってくださっているので、私たちにとって包容力のあるお母さんの存在です。奈々さんは、以前Benesse GCAの学生だったこともあり、先輩という立場からとても心強い助言や経験談を話してくれます。フレンドリーでノリがいいのでつい話が弾みます。2人とも関西弁で親しみやすく、すぐに打ち解けられました。留学する前は、Benesse GCAのサポート内容をあまり理解していなかった私ですが、8ヶ月経った今、様々なことに相談に乗ってもらったり、他愛のない話をさせてもらったなと思います。私は特に初めての海外留学だったので心強かったです。



オフィスで学生と話すSSOの2人

12期生便り



松平 昂翔
愛媛県立
松山南高等学校
(愛媛県)

日本にいる間は三つの「タイ」に悩まされていました。留学を決め、「退」路を断ち切って進んだ日々。しなくてはならないことは重々承知なのに、意志と行動が結びつかなかった「怠」惰。昼夜逆転や頭痛など、「体」調面で色々な人に迷惑を掛けました。でも今、こうしてシドニーへ来て、これらのことに眉をしかめたことはありません。フレンドリーな人間関係、英語への止まない興味、穏やかな環境、その全てが僕に合っているのだと実感しています。また、

日本各地から志同じくして共にいる、個性的な仲間を支えられながら何とか無事でいると思います。何気ない会話でも笑いあえることで、心の支えになっているのも確かです。こんな素敵な機会をくれたBenesse GCAの皆さん、そして何よりも両親に最大級の感謝を。今までに貰ったものを、結果で返します。TELC修了後はTAFEに進学し、昔からずっと興味があった建築分野について勉強しようと思っています。第二言語の習得、未来図の設計など、やることはたくさんありますが、それらと向き合うことを楽しめている自分がいます。あの時、豪州の地を踏んだ時にも抱いていた「大」志は、まだ胸の中にしっかりとあるので。



福光 俊紀
私立
岡山学芸館高等学校
(岡山県)

留学生活では、これまで自分が当たり前だと思っていたことを良い意味でも悪い意味でも覆されました。特に僕は、運の良いことに現地の同世代の友だちをたくさん作れて、毎週末遊びに行ったりしていました。そんな中、オーストラリアの選挙が近かった時のパーティーで、一緒にはしゃいでいた同世代の友だちが、選挙で誰に投票するか真剣に話し合い始め、驚きと尊敬の気持ちでいっぱいでした。友だちは本当に良い人で、SSOも最高です。Benesse GCAの仲間

間は、僕が今まで関わるのが無かったタイプの人が多く、正直どう接して良いか分かりませんでした。でも、そのお陰で様々な人と出会う良い機会になりました。今、この8ヶ月間を振り返ってみると、決して真面目に勉強ばかりしたなんて言えませんが、思い返せば、日本にいた時より勉強する機会が増えました。でも、自分の英語力が格段に伸びた理由は、確実に現地の人たちと遊び、話したからだと言い切れます。TAFE本科では、キャンパスツアーに参加して僕が本当に気に入った少し田舎のキャンパスに進学します。そこは、ネイティブスピーカーばかりの環境なので、英語力向上や自分の将来に活かせるよう努力します。